

# 取り付け

1 オプティメイトO-97Pマグコード磁気ポートには以下のコンポーネントが含まれています -

- a マグコード充電ポート: ゴム製ワッシャー付きの四角いフランジに予め取り付けられており、ゴムキャップも含まれています。(注意: 充電ポートはフランジから取り外す必要はありません。つまり、フランジに取り付けたままにしておきます。)
- b バッテリー接続ケーブルセット: 長さ=100cm。15AのATOヒューズにより、偶発的なショートサーキットや過負荷から保護されています。丸端子はM8、M10のデュアルサイズです(タブを折り曲げ取り外すとM10になります)。
- c ボルト4個(ワッシャーヘッド、4x16mm)、フラットワッシャー4個、ロックナット4個は、充電ポートのフランジをパネルに取り付けるためのものです。

2 必要な工具(含まれていません):

- a 電動ドリル
- b Ø35mmのホールソー(パネル材料タイプに適しています)
- c 4mmのドリル(パネル材料タイプに適しています)
- d 2.5mmの六角レンチ。
- e 7mmの六角レンチ。

## 準備:

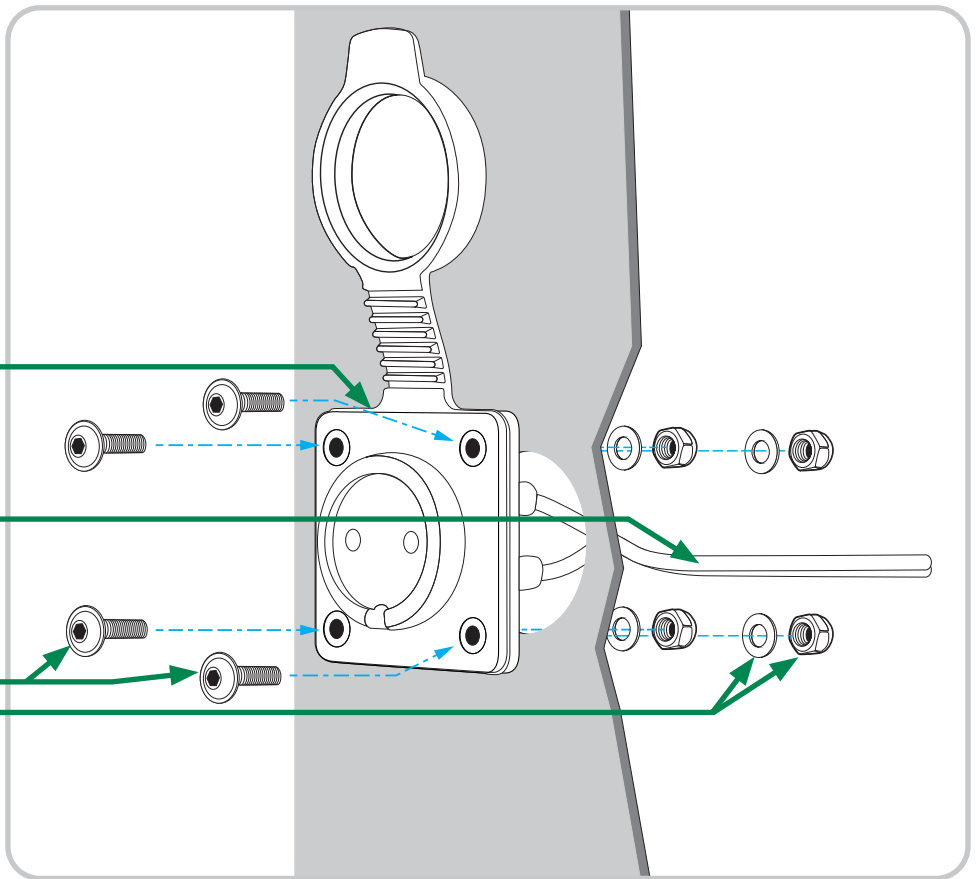
3 充電ポートを取り付ける適切な平らな場所を探します。

重要: 付属されているバッテリー接続ケーブルの長さは100cmです。バッテリーターミナルの両方への接続が容易であり、ポートからバッテリーへの安全な配線が可能である場所を選択してください。車両のエンジン付近(ファン、プーリー、ベルト)または動くボディパーツ(フード/ボンネットのヒンジやラッチ)および熱を発生させるパーツ付近(排気、マニホールド)から離して設置してください。

4 取り付けテンプレート(切り抜き)がこのシートに含まれています。(重要: 1対1のサイズで印刷してください。)

5 テンプレートを、ポートを取り付けたい位置に配置します。

6 35mmの穴と4つの4mmのバックプレート取り付け穴の中心位置をマークします。ヒント: バックプレート取り付けボルトがパネルの裏側からアクセスできるようにし、付属のワッシャーとロックナットを受けることが出来るか確認し作業を進めてください。



7 メインホールのドリル: 35mm のホールソーを使用して、パネルに穴をあけます。ヒント: 位置の精度を高める為に、ホールソーのガイドビットよりわずかに小さいパイロットホールをまずドリルし、その後ホールソーで続けます。ドリル後、穴側面のバリ等をきれいに処理して下さい。

8 下記の2点を確認してください:

a ポートとフランジが穴に収まり、パネルがしっかり埋め込まれ・取り付けられていることを確認します。

b フランジの4つの取り付け穴がマーキングと一致することを確認します。必要に応じてマーキングを調整します。

9 4mmのビットを使用して、4つのバックプレート取り付け穴をドリルします。

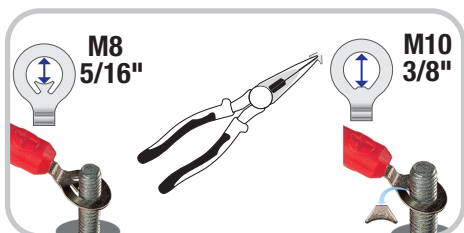
## 取り付け:

10 フランジ:

- a フランジを4つの取り付け穴の上に位置させます。六角ボルトを穴に通します。重要: まだ付属の鋼製ワッシャーは使用しないでください。
- b パネルの後ろ/内側の各ボルトにはまずスチールワッシャー、次にロックナットを取り付けます。ロックナットを手で位置に固定してから締めます。すべてのボルト(2.5mm六角レンチ)とナット(7mm六角レンチ)を締め、フランジがパネルにしっかりと収まるようにします。過度に締めすぎないように注意してください。

11 バッテリーケーブルセット:"

- a 赤い正極(+)リング端子をバッテリーのプラス(+ )ポストに取り付けます。黒い負(-)リング端子をバッテリーのマイナス(-)ポストに取り付けます。ヒント: リング端子のデフォルトサイズは



M8 ですが、内側の三角スペーサーを取り外してM10に調整できます(下記の図を参照)。

b ケーブルがエンジン付近(ファン、プーリー、ベルト)、および熱を発生させる部品付近(排気)から遠ざかるように配線されていることを確認します。ヒント: 必要に応じてタイラップ/ジップタイで確実に固定します(注意: タイラップ/ジップタイは含まれていません)。ポートの背後まで確実に固定します。重要: ケーブルを固定する前に土の端子を接続してください。赤い正(+ )スPEED端子をポートの後部にある+(正)でマークされたブレードに差し込み、黒い負(-)スPEED端子をポートの後部にある負(-)ブレードに差し込みます。

## 接続:

12 充電ポートは充電の準備ができています。マグネット式クリップをオプティメイト充電器の出力コードに取り付け、充電ポートに接続します。



取り付けテンプレート

